

2016 前期 LS(本)

受験番号

2016 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験 商法

(60分)

### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 商法

### 【問題】

以下の事例を読み、設問に答えよ。

### 〔事例〕

土木建築業を営む P 株式会社(以下、「P 社」)は、会社法上の公開会社であり、監査役会設置会社である。2014 年 9 月、P 社の営業担当取締役 A は、公共工事の受注に関連して懇意にしていた役所の担当者 B に 1000 万円の賄賂を贈り、工事を受注することに成功した。この工事により、P 社には少なくとも 5 億円の利益が生じた。A は、2015 年 1 月に、高齢を理由に、取締役の辞任を申し出て認められている。

2015 年 8 月 10 日、P 社による贈賄の事実が発覚し A が逮捕されたため、P 社は 6 か月間公共工事において指名停止処分を受けることとなった。これにより、少なくとも P 社には 1 億円の損害が発生することが見込まれた。

### 〔設問〕

P 社の監査役 X は、A の会社法上の責任を追及しようと考えた。いかなる主張が考えられるか。その当否とともに論ぜよ。